

マレーシアの小学生との交流外国語授業

児童の主体的な取り組みと豊かなコミュニケーション力を育む外国語教育を目指して

主催	加古川市立川西小学校
日時	令和4年10月17日（月）～20日（木） 午前8時55分～9時40分
場所	6年1組教室
内容	本校では、児童の主体的な取り組みと豊かなコミュニケーション力を育む外国語教育を目指して、海外の小学校と、オンラインで結んでの交流授業を推進している。先月は台湾の小学校との交流授業を終えたばかりである。今回は、マレーシアの小学生と本校の6年生児童が、1人1台の端末を利用して交流授業を行う。神戸の企業、「ウイズ・ザ・ワールド」様、加古川市の教育研究所、加古川市教育委員会の援助も受け、相互の国の文化や学校の紹介、10月17日は、ZOOMのブレイクアウトルームを使い、小グループに分かれて、SHOW&TELLの手法で、児童の自己紹介等を行い、気になった点を質疑応答を行う。18日～20日も、各小学校の紹介など、オンライン交流授業を行う。児童に外国に関心を高めさせ、国際理解も深めさせたい。本物のコミュニケーションを経験させることで、もっと英語を話せるようになりたいという意欲の向上につなげていくことも狙いの一つである。 （初めて・恒例・2回目）
対象（参加者）	川西小学校6年生児童36名、マレーシアの小学生
定員	
参加費	
申込先・方法	
目的・背景 その他	目的：児童の主体的な取り組みと豊かなコミュニケーション力を育む外国語教育を目指す。 背景：GIGAスクール構想
市ホームページ	掲載済み・掲載予定（月 日）・掲載しない
広報かこがわ	月号に掲載・月号に掲載予定・掲載しない

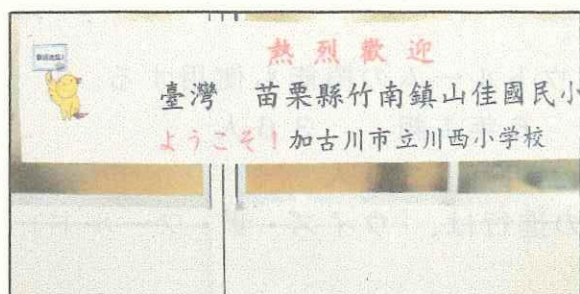
問合せ先

加古川市立川西小学校（担当：校長 原 哲也）

☎079-431-3464

川西小学校 海外の国とのオンラインを使っでの交流外国語授業の取組内容

1 台湾の山佳小学校との交流



兵庫県国際交流協会に、海外の国の小学校で日本の小学生との国際交流を希望されている学校がないか、問い合わせたところ、幸いなことに、台湾の方で、一校、希望されている学校があることを知り、すぐに相手校の英語担当教師とメールでのやりとりを行った。相手校とオンラインで、授業の流れの打ち合わせや、リハーサル等を行い、令和4年9月20日に、オンライン（1人1台端末（クロームブック））による第1回海外国際交流授業を行った。以下に授業の流れ等を示す。

交流ツール・・・Google の Meet

（Zoom の機能のブレイクアウトルームのような形を取り入れる。）

参加者・・・加古川市立川西小学校 6年1組 36人

台湾 山佳小学校 6年1組 29人

（1）大型モニターを使用して、お互いの国の児童、先生を全員映して、簡単に挨拶

（2）日本、台湾の小学生をそれぞれ12グループ（1つのグループに日本側は3人、台湾側は2人か3人が入る。）に分け、12台の端末（1台の端末を3人が共有）し、グループの中で、簡単な自己紹介、および、質疑応答を行った。

例

・自己紹介

Hello. Nice to meet you. My name is ～. I like dogs.

I can play tennis. I want to be a teacher. Thank you.

・質疑応答

Do you like cats? → Yes, I do.

Can you play soccer? → No, I can't.

What color do you like? → I like blue.

自己紹介、質疑応答が終了したグループは、同じく終了している別のグループとまた自己紹介、質疑応答を行う。これを繰り返す。

（3）大型モニターを使用して、お互いの国の児童、先生を全員映して、お礼と次回の再会を願って挨拶。

2 マレーシアの小学校との国際交流

EdTech 導入補助金（GIGA スクール構想推進のため、経済産業省と神戸のべ

ンチャー企業「ウイズ・ザ・ワールド」が費用の半分ずつを出資し、学校側としては、無料で授業を受けることができる。)を利用した国際交流授業(5回)を実施。令和4年10月11日(火)に第1回目の海外国際交流授業を行った。

以下が、第1回目の授業の流れ等である。

交流ツール・・・Zoom (ブレイクアウトルームの機能も使用する。)

参加者・・・加古川市立川西小学校 6年1組 36人

マレーシア 6年1組 30人

授業の準備は、各学校で行う。授業当日の進行は、「ウイズ・ザ・ワールド」
以下は第1回の授業の流れである。

【第1回(10/11)】

・アイスブレイキングゲーム

・アクティビティ

マレーシアの小学校から、マレーシアの文化等の紹介

川西小学校から、日本の文化等の紹介

・質疑応答

お互いの国について、気になることを質問し合う。

授業の準備として、日本の文化等の紹介に関しては、6年1組の児童を8つに分け、以下の8つの事(人)について、それぞれのグループで簡単に英語で説明する文を作り、一人一文ずつ順番に発表した。説明に、パフォーマンス等を加えるグループもあった。

寿 司 、 折 り 紙 、 相 撲 、 富 士 山 、 お 辞 儀 、 箸 、
いただきます・ごちそうさま、大谷翔平

発表例 大谷翔平(彼の写真を見せて)

A: Do you know him?

B: His name is Otani Shohei.

C: He is a MLB player.

D: He is a two-way player.

E: He is a pitcher and a batter.

F: He is great.

今後実施予定の第2回～第5回の授業の主な内容を以下に示します。

【第2回(10/17)】

・アクティビティ (ブレイクアウトルームを使って)

自己紹介&質疑応答

1人1～2分で自己紹介。名前の他、お気に入りのものを画面に見せて、相手国の児童に説明する(Show & Tell)。その後、お互いの自己紹介を聞いて、気になったことについて質問をし合う。

【第3回(10/18)】

・アクティビティ

マレーシアの小学校、川西小学校、それぞれの国の小学校の紹介

質疑応答・・・お互いの国の学校生活について気になることを質問し合う。

【第4回（10／19）】

・アクティビティ

共通点探しゲーム

【第5回（10／20）】

お互いの国について質問し合う。記念写真撮影

成果や課題

児童の授業後の感想文では、「他の国の小学生と話ができとても楽しかった。」「外国のことを、直接知ることができてよかった。」「この交流を続けていきたい。」等、教員側の予想を上回る交流授業に対する児童の評価であった。国際理解教育という観点においても、多様な考え方に対する理解や、



国際協調の精神を養うことができるものとする。また、本物のコミュニケーションを経験することで英語をより主体的に勉強しようとする意欲につながったのではないかと考える。マレーシアとの交流は、来年度からは、有料となるため今年で打ち切りになるが、台湾の山佳小学校との交流は、継続していくつもりである。今回は、私の方が主導で、交流授業のための準備を行ってきた。この準備には、それ相当の時間が必要である。今後、海外の国とのオンライン交流学习の目的等を、教職員とも共有し、教職員と共に組織的に取り組み、持続可能な取り組みにし、この海外との交流授業が豊かなコミュニケーション力を育む外国語教育の一助としたい。